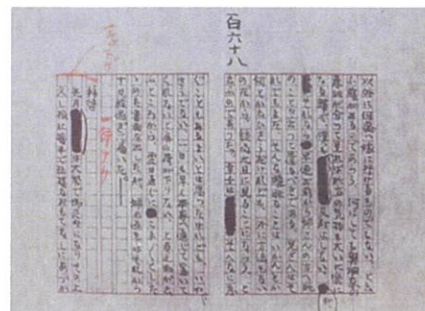


冬の特設展 紹介

谷崎が棄てた「細雪」～復古原稿の中の名作～

敗戦前後、谷崎潤一郎は疎開先の岡山で「細雪」の執筆を続け、その筆はすでに下巻におよんでいた。物語も大づめ、どうまとめあげるかの胸突き八丁。推敲は、いく度となくくり返されたことだろう。谷崎記念館には、その頃谷崎が書き棄てた、「細雪」下巻の復古原稿が七枚遺されている。そして、その内容からは、現在私たちが親しんでいるこの名作の流れとは、大きく異なる展開が透けてみえる。文豪が棄てた原稿は、はたして何を物語るのか。

※通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設



「細雪」復古原稿

通常展 紹介

谷崎潤一郎は明治19(1886)年東京に生まれ、20代半ばで文壇にデビューします。以後、昭和40(1965)年に生涯を閉じるまで約半世紀にわたり、激動の社会情勢に流されることなく独自の世界を描き続けました。その潤一郎の人物作品を、生い立ちから晩年にわたって紹介します。

同時開催 ロビーギャラリー

※開館時間・休館日・観覧料は冬の特設展と同じ(最終日は15:00まで)

★幸灯工房 濱坂幸代 作品展 ～あかりの庭～

美しい庭園を眺めるあかりのある風景

12月16日(土)～2024年1月21日(日)

一日体験講座 ランプシェード作り 「月あかり」

日時：12月17日(日)

①10:30～12:30

②14:00～16:00

定員：各回8名(要予約)

参加費：1,500円(観覧料込)

材料費：3,500円

持ち物：なし



体験講座作品見本「月あかり」

濱坂幸代 作品「flower」

特設展関連講座

学芸員が語る冬の特設展

谷崎が棄てた「細雪」 ～復古原稿の中の名作～

日時：2024年2月3日(土) 14:00～15:00

場所：当館講義室

講師：井上 勝博(当館学芸員)

定員：20名(要予約)

受講料：観覧料のみで受講いただけます

つながる文学講座(隔月開催)

第6回 告白と文学

～田山花袋「蒲団」を読み解く～

日時：2024年2月18日(日) 14:00～15:30

場所：当館講義室

講師：光石 亜由美氏(奈良大学教授)

定員：30名(要予約)

受講料：1,000円(観覧料込)

参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する小学館集英社プロダクション
共同の個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います。

芦屋市谷崎潤一郎記念館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12の15
TEL 0797 (23) 5852 FAX 0797 (38) 3244
メール ashya-tanizakikan@shopro.co.jp
ホームページ <https://www.tanizakikan.com>



★谷崎館講座 受講生作品展

当館の講座受講生が日頃の成果を講座ごとに披露します。

2024年1月23日(火)～3月10日(日)

○初めての日本画

1月23日(火)～2月4日(日)

○マーレングラスリッツェン講座

2月7日(水)～2月12日(月)

○仏画講座 癒しの仏画を描きましょう

2月15日(木)～2月25日(日)

○谷崎潤一郎ゆかりの庭園で「俳句講座」

季語から始める俳句レッスン

2月28日(水)～3月3日(日)

○手ろくろ陶芸講座

3月6日(水)～3月10日(日)